

令04原機(科保)099  
令和4年11月1日

原子力規制委員会 殿

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
理事長 小口 正範  
(公印省略)

### 核燃料物質使用変更届

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第55条第2項の規定に基づき、下記のとおり核燃料物質の使用の変更を届け出ます。

#### 記

1. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名  
名 称 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
住 所 茨城県那珂郡東海村大字舟石川765番地1  
代表者の氏名 理事長 小口 正範  
事業所の名称 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
原子力科学研究所  
事業所の住所 茨城県那珂郡東海村大字白方2番地4

2. 変更内容

事業所全体(原子力科学研究所)、FNS棟における予定使用期間及び年間予定使用量について、令和4年11月1日をもって変更する。変更の詳細は別紙1及び別紙2のとおりである。

3. 変更理由

FNS棟で保有していた核燃料物質の全てを施設外に払出し、今後、受入れの予定がないため変更する。



別紙 1

(変更後)

5. 予定使用期間及び年間予定使用量

(事業所全体)：原子力科学研究所

核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量	
		最大存在量	
劣化ウラン 天然ウラン 濃縮ウラン 5%未満 5%以上 20%未満 20%以上 ウラン 233 プルトニウム トリウム 使用済燃料	自 <u>2022年11月1日</u>  至 <u>2024年3月31日</u>	<u>7,603.42kg</u> <u>23,379.81kg</u>	7,490,887g 900,606g <u>14,838g</u> 735g 44,330g <u>1,670.15kg</u> 3,603.265PBq

(施設)

核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量	
		最大存在量	延べ取扱量
劣化ウラン 天然ウラン 濃縮ウラン 5%未満 5%以上 20%未満 20%以上 ウラン 233 プルトニウム トリウム 使用済燃料	(事業所全体) 原子力科学研究所と同様		

} 施設編に記載
 } 施設編に記載
 } 施設編に記載

別紙2

変更内容

FNS棟における予定使用期間及び年間予定使用量のうち、年間予定使用量を、令和4年11月1日をもって変更する。(下線部：変更箇所)

(変更前)

5. 予定使用期間及び年間予定使用量

核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量	
		最大存在量	延べ取扱量
天然ウラン	共通編に記載	<u>20g</u>	<u>20g</u>
劣化ウラン		<u>20g</u>	<u>20g</u>
トリウム		<u>20g</u>	<u>20g</u>
濃縮ウラン 20%以上		<u>14.5g</u> <u>(<sup>235</sup>U量 13.6g)</u>	<u>14.5g</u> <u>(<sup>235</sup>U量 13.6g)</u>

(変更後)

5. 予定使用期間及び年間予定使用量

核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量	
		最大存在量	延べ取扱量
天然ウラン	共通編に記載	<u>0g</u>	<u>0g</u>
劣化ウラン		<u>0g</u>	<u>0g</u>
トリウム		<u>0g</u>	<u>0g</u>
濃縮ウラン 20%以上		<u>0g</u>	<u>0g</u>